

履歴書記載要領（自動車局）

サイズ 16pt、
センタリング
※ 功績調書共通

履 歴 書

【全体の基本書式】

フォント：MS 明朝（サイズ 12pt）

行数：40行

※ 功績調書共通

※ 功績調書に本籍・現住所は記載不要

本籍

現住所

〒100-8918

東京都千代田区霞が関二丁目1番3号

東京都千代田区霞が関2-1-3

本籍は戸籍抄本記載の通り記入

現住所の「丁目」以下はハイフン

で統一

列を揃える（他箇所も同じ）

※ 功績調書共通

氏名 国士太郎

(旧氏名 運輸太郎)

生年月日 昭和〇〇年〇月〇日生

オフセット 4pt
サイズ 9pt

改姓がある場合は、
氏名と生年月日の
間に記入（ふりがなも）

※ 年齢は記載しない

1. 学 歴

昭和38年 3月 〇〇大学経営学部 卒業

※ 最終学歴のみで可

2. 職 歴

必ず「自・至」形式で記載し、役職が変わった
際の「至と自」の日付が重複しないようにする

(1) 業務歴

自 昭和38年 4月 1日 〇〇運輸株式会社

至 昭和39年 11月 30日

※ 所属部署名や「～に就任」等の

文言は不要（文章形式にしない）

自 昭和39年 12月 10日 〇〇タクシー株式会社 常務取締役

至 昭和55年 9月 7日

自 昭和55年 9月 8日 同上 代表取締役

至 平成13年 12月 20日

同一社内等の場合は「同上」等
でまとめる

自 昭和41年 6月 1日 △△タクシー株式会社 常務取締役

至 昭和55年 9月 9日

自 昭和55年 9月 10日 同上 代表取締役

至 昭和27年 6月 30日

自 平成27年 7月 1日 同上 代表取締役会長

至 平成30年 3月 6日

生前叙勲で現職の場合は「至 現在」
とし、日付は不要

自 昭和55年 8月 11日 □□タクシー株式会社 取締役

至 平成25年 3月 31日

ページ番号を振る

自 平成25年 4月 1日 同上 代表取締役
 至 平成27年 6月30日
 自 平成27年 7月 1日 同上 代表取締役会長
 至 平成30年 3月 6日

自 平成24年 9月10日 株式会社○△タクシー 代表取締役
 至 平成29年 8月29日 (同日、□○タクシー株式会社に合併)

自 平成25年 3月21日 ▽▽タクシー株式会社 代表取締役
 至 平成30年 3月 6日
 (平成25年4月11日 株式会社▽▽タクシーに名称変更)

自 昭和50年 3月 1日 ○○商事株式会社 常務取締役
 至 昭和55年 8月31日
 自 昭和55年 9月 1日 同上 代表取締役
 至 平成30年 3月 6日

平成30年 3月 6日 死亡(胃癌)

死亡の場合、業務歴の最後に
死亡日及び死因を記載

※個人タクシー運転者の記載方法

自 昭和○○年○○月○○日 一般乗用旅客自動車運送事業
 至 現在 (1人1車制個人タクシー事業者)

※定年後再雇用の記載方法

自 昭和○○年○○月○○日 ○○株式会社 ○○運転手
 至 昭和○○年○○月○○日 (定年退職)
 自 昭和○○年○○月○○日 ○○株式会社 ○○運転手 (再雇用)
 至 現在

(2) 団体歴

自 昭和56年 5月22日 社団法人○○県タクシー協会 理事
 至 昭和59年 5月17日
 自 昭和59年 5月18日 同上 副会長
 至 平成14年 5月23日
 自 平成14年 5月24日 同上 理事
 至 平成25年 5月28日

理事と副会長を兼務している
期間がある場合でも、便宜的に
副会長就任前日を「至」とする
(理事と副会長の歴が重複し
ないようにする)

自 平成25年 5月29日 同上 副会長
至 平成30年 3月 6日

委員会歴は役員歴の後に分けて記載
（「理事兼〇〇委員」としない）

自 平成14年 5月24日 同上 〇〇委員会 委員長
至 平成30年 3月 6日 （平成25年4月1日 一般社団法人へ移行）

※ 途中の組織変更などは最後にカッコ書きで記入

自 昭和59年 7月 2日 〇〇県タクシー協会東部支部 支部長
至 平成12年 4月 9日
自 平成25年 4月 3日 同上 同支部 支部長
至 平成30年 3月 6日

自 平成25年 7月22日 〇〇乗用旅客自動車連合会 理事
至 平成30年 3月 6日
（平成26年7月22日 〇〇ハイヤー・タクシー連合会に名称変更）

自 昭和53年11月16日 全国〇〇連絡協議会 理事
至 平成 4年11月16日
自 平成 4年11月17日 同上 副会長
至 平成10年10月 6日
自 平成10年10月 7日 同上 理事
至 平成29年 6月 6日
（昭和62年11月13日 全国〇〇自動車協会に名称変更）
（平成 4年11月17日 全国〇〇サービス協会に名称変更）
（平成10年10月 7日 財団法人に移行）
（平成23年 4月 1日 一般財団法人に移行）

自 昭和55年 9月 1日 〇〇県乗用自動車厚生年金基金 理事
至 平成20年 7月15日
自 平成20年 7月16日 同上 副理事長
至 平成26年 7月25日
自 平成26年 7月26日 清算法人 〇〇県乗用自動車厚生年金基金
至 平成30年 3月 6日 清算人

自 昭和63年 9月 1日 〇〇東交通安全協会 副会長
至 平成30年 3月 6日

自 昭和60年 6月26日 社団法人〇〇自動車無線協会 理事
至 平成21年 6月 3日

自 平成21年 6月 4日 同上 副会長
至 平成29年 6月 8日 (平成25年5月1日 一般社団法人に移行)

自 平成 8年 6月11日 社団法人〇〇自動車無線連合会 理事
至 平成29年 6月14日 (平成24年5月1日 一般社団法人に移行)

(3) 公職歴

自 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇市議会議員
至 昭和〇〇年〇〇月〇〇日
自 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇省〇〇審議会委員
至 現在
自 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 民生委員
至 昭和〇〇年〇〇月〇〇日

※ 公職歴がない場合は項目削除
(次項のその他を(3)とする)

(4) その他 ※運転者及び整備士の場合のみ記載し、それ以外は項目削除

資格 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 普通自動車第一種免許
昭和〇〇年〇〇月〇〇日 普通自動車第二種免許
昭和〇〇年〇〇月〇〇日 大型自動車第一種免許
昭和〇〇年〇〇月〇〇日 大型自動車第二種免許
昭和〇〇年〇〇月〇〇日 3級自動車シャシ整備士 〇三し第〇〇〇〇号
昭和〇〇年〇〇月〇〇日 2級ガソリン自動車整備士 〇二か第〇〇〇〇号

3. 賞 罰 ※「～を受賞」等の文言は不要。個人として受賞等したもののみ記載

平成 3年 6月 1日 〇〇運輸局長表彰 (自動車関係功労)
平成 7年 6月 22日 社団法人〇〇自動車無線協会会長表彰
平成 8年 4月 9日 〇〇県警察本部長、財団法人〇〇県交通安全協会会長表彰
平成 8年 4月 9日 緑十字銅章 ※ 緑十字〇章は、この記載方法で統一
平成 9年 9月 24日 〇〇福祉サービス協会会長表彰
平成 9年 11月 19日 〇〇国税局関税会連合会会長感謝状
平成 10年 11月 15日 〇〇商工会議所会頭表彰
平成 12年 6月 13日 社団法人〇〇自動車無線連合会会長表彰
平成 12年 10月 27日 運輸大臣表彰 (自動車関係功労)
平成 20年 6月 30日 財団法人〇〇福祉サービス協会会長表彰
平成 20年 9月 10日 〇〇県知事表彰 (〇〇功労)
平成 25年 9月 10日 〇〇〇大臣表彰 (〇〇功労)
平成 29年 4月 29日 旭日双光章 (自動車運送事業振興功労)

国交省関係の表彰
は必ず功労名を
括弧書きする

叙勲・褒章・知事以上
の表彰は必ず功労名
を括弧書きする

■履歴書作成にあたっては「【自動車局】履歴書様式（民間）」（Excel）を使用すること。

（※ 功績調書については原則として「Word」ファイルを使用すること。）

■内容に関する確認事項（「上記のとおり相違ありません」等）の記載はしないこと。

■国交省関係の功労名は以下の記載で統一すること。

【叙勲（叙位）・褒章時】

（叙勲及び褒賞の功労名は受章者名簿の「功労（功績）概要」欄に記載の内容）

- ・叙勲の功労名 → 「自動車〇〇事業振興功労」（※1）
 - ・藍綬褒章の功労名 → 「自動車運送事業功績」（社業評価）、
「自動車〇〇事業振興功績」（団体評価）（※1）
 - ・黄綬褒賞（役員）功労名 → 「業務精励（自動車〇〇業）」（※1）
 - ・黄綬褒章（従事者）の功労名 → 「業務精励（自動車〇〇業務）」（※2）
 - ・大臣表彰、局長表彰、支局長表彰の功労名 → 「自動車関係功労」
- （※1）〇〇は運送、整備、販売、関連のいずれか
（※2）〇〇は運転、整備のいずれか

【大臣表彰時】

- ・局長表彰、支局長表彰の功労名 → 「〇〇事業役員功労」又は「〇〇事業永年勤続功労」
- （※）〇〇はバス、タクシー、トラック、自動車整備、自動車販売、自動車関連のいずれか

■候補者本人の履歴でない「事業場の移転」や「自動車分解整備事業の認証取得・指定自動車整備事業の指定取得」等は記載しないこと（整備の認証・指定取得日は企業規模調書の備考欄に記載する）